# 令和元年度指定管理業務　評価票

## 1　基本事項

| | |
|---|---|
| ⑴公の施設の名称 | シャルマン火打スキー場 |
| ⑵施設の設置目的 | 交流人口の増加を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する。 |
| ⑶所管部署 | 能生事務所 |
| ⑷指定管理者 | 火打山麓振興株式会社 |
| ⑸指定期間 | 平成29年4月1日から令和2年3月31日までの3年 |
| ⑹主な事業 | |

①施設の管理運営に関する業務
　利用申込の受付等・利用料金の徴収・管理業務、施設、設備、器具及び備品の維持管理
②各種教室運営・大会の開催に関すること
　大会の誘致や企画・教室の企画及び実施
③その他の業務
　レストランやレンタル等の運営

## 2　管理運営状況

⑴令和元年度管理運営状況（主要な取組・成果、地域貢献等の実績）

●国内でも稀有な降雪量を売りに広範囲から集客している（90％以上が糸魚川市外、概ね65％が新潟県外）。
●ウィンタースポーツ文化の継承発展のため、各種大会やスキー・スノーボード教室の会場としての役割も担った。
●シャルマンを基盤としたスキークラブを設立し、新潟県スキー連盟とのつながりも作り、毎年春には上越地区のジュニアスキー大会やテクニカル・クラウンといった上級検定が行われている。
●地元団体とも連携し、餅つき大会や特産品の販売イベントを開催した。

⑵利用状況

（単位：人）

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 |
|---|---|---|---|
| 指定管理者名 | 火打山麓振興株式会社 | 火打山麓振興株式会社 | 火打山麓振興株式会社 |
| リフト発券数 | 19,692 | 24,867 | 32,619 |
| 入込数（観光動向調査） | 23,440 | 24,950 | 32,610 |

| | |
|---|---|
| 「利用者サービス」における市の状況分析 | シャルマン火打スキー場は、降雪が多く積雪量も他のスキー場よりも多いことから12月中旬に営業開始し、翌年の5月の連休後に営業終了となり、営業期間が長いのが特徴である。<br>令和元年度は、全国的にスキー場が雪不足によりオープンが遅れたり営業開始できなかったりしたが、当スキー場は予定より2週間程度遅くなったがオープンでき、1・2月は近年稀にみる入込数となった。しかし、積雪量が少なく、降雪は随時あったものの、4月に入りコース運営が難しくなってきたこと、また新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、例年より1か月程度早い閉鎖となった。<br>スキー場施設は、その年の積雪状況により営業日数や入込数に大きく左右されることになり、今シーズンのように営業日数が確保できない中でどれだけ誘客を図るかが重要となる。 |

⑶収支状況

（単位：千円）

| 区分 | | | H29年度 | | H30年度 | | R元年度 | | 2年度(予算) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 |
| 営業損益 | 売上高 | 指定管理料 | 45,500 | 45,500 | 45,500 | 45,500 | 45,500 | 45,500 | 46,500 |
| | | 利用料金 | 57,000 | 49,144 | 57,500 | 57,582 | 57,000 | 72,835 | 57,000 |
| | | 事業収入 | 33,800 | 28,567 | 35,350 | 20,462 | 23,500 | 30,831 | 31,500 |
| | | その他営業収入等 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 19,000 | 10,000 | 10,000 |
| | | | | | | | | | |
| | | 小計 | 146,300 | 133,211 | 148,350 | 133,544 | 145,000 | 159,166 | 145,000 |
| | 売上原価 | 期首棚卸高 | | | | | | 15,723 | 16,142 |
| | | 仕入高 | 20,000 | 21,423 | 21,050 | 18,139 | 21,000 | 25,278 | 22,000 |
| | | | | | | | | | |
| | | 期末棚卸高 | | | | | | 16,142 | 16,142 |
| | | 小計 | 20,000 | 21,423 | 21,050 | 18,139 | 21,000 | 24,859 | 22,000 |
| | 売上総利益 | | 126,300 | 111,788 | 127,300 | 115,405 | 124,000 | 134,307 | 123,000 |
| | 販売費一般管理費 | 販売員給与 | 48,000 | 45,467 | 49,000 | 40,868 | 48,000 | 48,571 | 49,000 |
| | | 賞与引当金繰入額 | | | | | | | |
| | | 販売員旅費 | 400 | 705 | 400 | 445 | 400 | 168 | 400 |
| | | 広告宣伝費 | 4,000 | 4,682 | 4,000 | 4,251 | 5,000 | 4,413 | 4,500 |
| | | 大会費 | | | | | | 131 | |
| | | 販売促進費 | | | | | | 21 | |
| | | 販売手数料 | | | | | | 692 | |
| | | 福利厚生費 | 7,600 | 7,420 | 7,600 | 6,140 | 7,600 | 7,340 | 7,600 |
| | | 減価償却費 | 2,680 | 2,294 | 2,680 | 1,836 | 2,940 | 3,102 | 2,500 |
| | | 修繕費 | 5,900 | 5,278 | 5,900 | 5,715 | 6,500 | 6,448 | 5,900 |
| | | 事務用品費 | 4,100 | 3,778 | 4,100 | 3,249 | 4,100 | 3,609 | 4,100 |
| | | 通信交通費 | 1,020 | 944 | 1,020 | 943 | 1,000 | 860 | 1,000 |
| | | 光熱水費 | 10,800 | 9,754 | 10,800 | 8,349 | 9,720 | 9,691 | 9,800 |
| | | 租税公課 | 4,000 | 3,778 | 4,000 | 3,223 | 4,000 | 658 | 4,000 |
| | | 接待交際費 | | | | | | 696 | |
| | | 保険料 | 2,000 | 1,553 | 2,000 | 1,149 | 2,000 | 994 | 2,000 |
| | | 委託料 | 16,000 | 14,761 | 16,000 | 13,379 | 16,500 | 14,710 | 16,500 |
| | | 支払手数料 | 3,660 | 3,778 | 3,660 | 4,103 | 5,000 | 4,942 | 4,500 |
| | | 賃貸・リース料 | 600 | 674 | 600 | 262 | 600 | 153 | 600 |
| | | 借上料 | 2,940 | | 2,940 | | | 110 | |
| | | 使用料 | | | | 47 | | | |
| | | 燃料費 | 12,500 | 8,798 | 12,500 | 7,463 | 10,600 | 9,363 | 10,500 |
| | | 雑費 | | | | | | 1,072 | |
| | | 小計 | 126,200 | 113,664 | 127,200 | 101,422 | 123,960 | 117,744 | 122,900 |
| | 営業利益 | | 100 | -1,876 | 100 | 13,983 | 40 | 16,563 | 100 |
| | 利益率(売上高営業利益率) | | 0.1% | -1.4% | 0.1% | 10.5% | 0.0% | 10.4% | 0.1% |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 営業外損益 | 営業外収益 | 除雪受託料 | | | | | | | |
| | | 雑収入 | | | | | | 2,677 | |
| | | | | | | | | | |
| | | 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,677 | 0 |
| | 営業外費用 | 雑損失 | 100 | 27 | 100 | | 40 | 25 | 100 |
| | | | | | | | | | |
| | | 小計 | 100 | 27 | 100 | 0 | 40 | 25 | 100 |
| | 差引 | | -100 | -27 | -100 | 0 | -40 | 2,652 | -100 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別損益等 | ※1 | | | | | | | | |
| | ※2 | | | | | | | | |
| | 差引 | | | | | | | | |
| | 税引前当期純利益 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | ※3 | | | | | | | | |

※1　特別利益　　※2　特別損失　　※3　法人税等

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 当期純利益 | 0 | -1,903 | 0 | 13,983 | 0 | 19,215 | 0 |

| | |
|---|---|
| 「収支状況」における市の状況分析 | 売上は、入込数の増に伴い利用料金、事業収入が大きく伸び、前年度より大幅アップとなった。<br>支出も昨年より増加、特に人件費は雇用者を増やしたことにより前年対比119%と増加した。ただ、当期純利益は売上増が大きく黒字となった。<br>気候等に左右されることが大きいが、今シーズンに関しては当スキー場に有利な状況となったと考えられる。 |

## ３ 適正な管理運営の確保

| | | |
|---|---|---|
| 目標管理 | 評価指標 | スキー場という自然に大きく影響を受ける環境下での安全確保 |
| | 目　標 | 索道事故ゼロ、遭難救助案件ゼロ |
| | 実　績 | 索道事故、遭難救助案件ともに無し |

| | 点検項目 | 【実施状況】 |
|---|---|---|
| 実施状況 | ・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。 | ・適正な運営を行っている。 |
| | ・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。 | ・索道やセンターハウスの衛生管理に関わる施設等、来場者の安全に関わる保守点検を適正に実行した。<br>・設備・備品等の管理、パトロールの安全管理は各部署で点検した内容を記録簿に記載して、いつでも第三者が点検できるようにしている。 |
| | ・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。 | ・一部を除き協定書、事業計画書等に沿った職員体制になっている。 |
| | ・利用者が安全、安心に利用できるような緊急・救急体制を有しているか。 | ・安全管理について経営側まで関与してマニュアル・体制を作り、教育・訓練を実施して事故を防止した。<br>・けが人の発生した時、必要な場合は消防・警察と連携して適切に対処した。 |
| | ・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。 | ・12月オープン前に全従業員と消防も参加の救助・避難訓練・救急救命講習を実施している。 |
| | 利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応 | ・ご意見箱の設置やメール等での意見や要望等を常にチェックし、職員で共有しながら対応を図っている。 |

| | | 指定管理者の自己評価 | 市の評価 |
|---|---|---|---|
| 評価等 | 評　　価 | Ａ（Ａ＋） | Ａ（Ａ＋） |
| | 評価理由 | 索道(リフト)係及びパトロール隊に、事前研修等を行い、事故ゼロでシーズンを終わることができた。遭難の防止についてはエリア外滑走の危険性についての放送や入山届での管理が効果的であった。 | 目標を達成できたことからＡ（Ａ＋）評価とした。<br>今後も事故等のないように対応をお願いしたい。 |
| | 改善事項 | 全体的に高齢化が進んでおり人材不足は顕在化している。ハローワークをはじめ過去の従事経験者のネットを活用し人材確保に努める。 | 最近はどこも人材不足が課題となっているが、地域雇用の場として、人材確保に努めていただきたい。 |

【評価基準】

| ランク | | 目標達成率(%) | 判断基準 |
|---|---|---|---|
| AAA | | 115%以上 | 事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの |
| AA | | 105%以上　115%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの |
| A | A＋ | 100%以上　105%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの |
| | A－ | 95%以上　100%未満 | |
| B | | 80%以上　95%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの |
| C | | 80%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの |

## ４ 利用者サービスの向上や利用者数増の取組

| | | |
|---|---|---|
| 目標管理 | 評価指標 | サービス・知名度・関心度の向上による利用者数増 |
| | 目　標 | リフト券発券数24,000枚、入込数（観光動態調査）32,000人 |
| | 実　績 | リフト券発券数32,619枚（対目標135.9%）、入込数32,610人（対目標101.9%） |
| 資料 | | |

| 実施状況 | 点検項目 | 【実施状況】 |
|---|---|---|
| | ・利用促進に向けた取組に努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。 | ・他スキー場との割引提携、ネットクーポンの活用等多彩なサービスを行っている。<br>・新幹線利用での来場を促進するため、糸魚川駅からの直行シャトルバスを運行している。<br>・関西の旅行代理店(大手３社)で旅行商品を開発し運用を開始している。 |
| | ・教室、イベント、自主事業などの取組状況 | ・スクールは常時受付け体制になって毎年利用者数が向上している。子供向けスキー教室や「アイスティカップ」など特徴のある大会イベントを開催している。当スキー場の目玉事業の「シャルフェス」は概ね500人以上の入込を維持し安定感を感じている。 |
| | ・利用者数増加のためのＰＲ活動は実施しているか。 | ・雪が多くオープン期間が長いという特徴をＰＲし続け、ゴールデンウィーク期間まで営業を継続。<br>・来場客の特性、関心に合わせ、インターネット・放送媒体・刷物・販促イベント等を使いＰＲ活動を行った。インスタのフォロワーは約3,500人、Facebookでは約8,900人とスキー場業界でも上位。「いいね」はそれぞれ200人程度。<br>・インバウンド客を狙って外国人向けのガイドブックやホームページにバナーを掲載した。 |
| | ・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。 | ・メール・アンケート(糸魚川駅シャトルバス利用者・センターハウス内)等により利用者の声を収集・対応している。 |
| | 利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応 | ・糸魚川駅からのシャトルバス利用者からは、朝夕各一便のみではなく増便して途中温泉等立ち寄れるようにしてほしいとの要望が多かった。増便は困難だが温泉宿の要望を採り入れ停車場を柔軟に設定した。 |

| 評価等 | | 指定管理者の自己評価 | 市の評価 |
|---|---|---|---|
| | 評　　価 | ＡＡ | ＡＡＡ |
| | 評価理由 | 暖冬少雪の影響により、全国的に降雪が少なかったことが幸いし入込客が伸びた。またシーズン中は比較的穏やかな気象条件であったことと、機械設備も安定稼働するなど圧雪車や索道の技術研修の成果が表れ始め利用客の利便性向上につながっている。 | リフト発券枚数の目標達成率を重視し、ＡＡＡ評価とした。今シーズンは当該施設にとっては有利な天候が続いたことにより大きく入込数を伸ばした。機械設備が安定稼働することにより、利用者の満足度の向上にもつながるため、今後も継続した取組を行う必要がある。 |
| | 改善事項 | シャトルバスの運行体制に限界があり、新幹線効果も頭打ちとなってきている。周辺宿泊施設との連携強化を模索中。シーズン前に白馬方面の宿泊施設への営業を強化している。今シーズンも同様に営業活動を進める。 | 新型コロナウイルスの影響で、外国人客の増加が見込めない状況であるため、厳しい状況ではあるが、新たな顧客層の獲得に力を入れてもらいたい。 |

【評価基準】

| ランク | | 目標達成率(%) | 判断基準 |
|---|---|---|---|
| AAA | | 115%以上 | 事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの |
| AA | | 105%以上　115%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの |
| A | A＋ | 100%以上　105%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの |
| | A－ | 95%以上　100%未満 | |
| B | | 80%以上　95%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの |
| C | | 80%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの |

## ５ 収支や収益の向上に関する取組

| | | |
|---|---|---|
| 目標管理 | 評価指標 | 利用料金収入の予算達成度 |
| | 目　標 | ５７，０００（千円）※指定管理事業計画上の予算額 |
| | 実　績 | ７２，８３５（千円）※予算比127.7％ |
| 資料 | | |

年次の指定管理事業計画における利用料金（単位：千円）

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 |
|---|---|---|---|
| 予算 | 57,000 | 57,000 | 57,000 |
| 実績 | 49,144 | 57,582 | 72,835 |
| 差引 | - 7,856 | 5,016 | 16,071 |

| | 点検項目 | 【実施状況】 |
|---|---|---|
| 実施状況 | ・利用料収入の目標達成度 | ・利用料金収入は指定管理計画の予算比127.7％であった。 |
| | ・収入増加のための取組を実施しているか。 | ・インバウンド用に英語堪能な臨時職員を雇用し長野県白馬地域のペンション、スキー・ボードショップオーナー（外国人）を訪問し営業活動を行っている。<br>・また業界主催のイベントに積極的に参加、ＰＲ活動や新たなネットワークの構築に努めている。 |
| | ・収支決算書は適正に作成されているか。 | ・収支決算は毎月会計事務所の監査を受けており適正に処理されている。 |
| | ・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。 | ・ゲレンデの圧雪整備作業は休日には３台体制だが、平日は２台体制として人件費・燃料費・機械の消耗を軽減する取組を続けている。 |
| | 利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応 | ・常時アンケートを回収し、個別（レター・メール）又は場内掲示により回答に努めている。即時対応に対する評価も得ている。 |

| | | 指定管理者の自己評価 | 市の評価 |
|---|---|---|---|
| 評価等 | 評　　価 | ＡＡＡ | ＡＡＡ |
| | 評価理由 | 年前は、少雪により前年を大きく下回ったが、年明け以降は順調に降雪があり、他のスキー場が雪不足で苦戦する中、スキーヤー・ボーダーを呼び込むことができた。特に圧雪部隊との連携により深夜時間帯にリアルな降積雪をインスタやフェイスブックでゲレンデ情報として発信している。 | 目標達成率からＡＡＡの評価とした。小雪の影響でオープンは遅れたが、その後は降雪もあり、安定した営業ができたことで、利用料金収入は大幅な増となった。 |
| | 改善事項 | ゲレンデ利用の整理調整を行い大学・高校等のスキー部の誘致を進め、宿泊施設と連携し長期滞在の誘客につなげる。 | シャルマンは他のスキー場と違い、敷地内、または近辺に宿泊施設がないことから、関東方面、関西方面の誘客には宿泊施設との連携が必須となる。現在は以前に比べて権現荘との連携が増えてきており、更なる連携強化と、それを実績につなげられるように努めていただきたい。 |

【評価基準】

| ランク | | 目標達成率（%） | 判断基準 |
|---|---|---|---|
| AAA | | 115%以上 | 事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの |
| AA | | 105%以上　115%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの |
| A | A＋ | 100%以上　105%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの |
| | A－ | 95%以上　100%未満 | |
| B | | 80%以上　95%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの |
| C | | 80%未満 | 事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの |

## ６ 公の施設の設置目的と全体評価

<table>
<tr><td rowspan="9">検証等</td><td></td><td colspan="3">市の評価</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評　価</td><td>設置目的</td><td>目標管理（評価指標）の再掲</td><td>指標別評価</td></tr>
<tr><td rowspan="3">交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与するため、スキー場を設置する。</td><td>適正な管理運営の確保</td><td>Ａ（Ａ＋）</td></tr>
<tr><td>利用者サービスの向上</td><td>ＡＡＡ</td></tr>
<tr><td>収支の実績</td><td>ＡＡＡ</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価内容</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td colspan="2">・市外利用者が90％と多く、人的交流の面で設置目的に沿っている。<br>・従業員は地元雇用及びレストランの食材等の地元調達に力を入れており、地域振興及び地場産業の振興に寄与している。<br>・市民利用については、市内小中学校のスキー授業をはじめ、高校生以上のスキー、スノーボード愛好者の方々に利用され、市民の健康増進と体育の向上が図られている。<br>・施設の管理状況等は良好である。<br>・収支については、対前年では利用者・売上も増え、黒字であった。<br>・指標別評価を総合的に判断し「ＡＡ」と評価した。</td><td>ＡＡ</td></tr>
<tr><td>課題検証</td><td colspan="3">・費用対効果に見合った投資<br>　スキー場の設置効果を将来的に長く継続させていくためには、利用者数を増やすか、スキー場への市の一般財源投入額を減らし、費用対効果を上げていくことが必要。現在、施設や設備の老朽化が進んでいるが、費用対効果等から補修や入替が実施できないことが増えている。<br>・利用者数の確保<br>　国内のスキー・スノーボード人口は1998年にピークを迎え、その後は減少が続き、当該スキー場も同様の傾向にある。ここ10年くらいは積雪状況等によって増減を繰り返しているが、今後は利用者が年々増えていくよう、営業等を強化する必要がある。<br>・新型コロナウイルス感染予防対策<br>　今シーズンは影響なく営業が終了したが、来シーズン以降は新しい生活様式に沿った営業を行う必要があるため、感染予防対策をしっかりと実施することが必須である。</td></tr>
<tr><td>改善事項</td><td colspan="3">・最近は白馬や妙高方面から長期滞在中の外国人客が当該スキー場へ訪れることが増えてきていたが、新型コロナウイルスの影響で外国人客の増加は厳しい状況である。国内のスキー・スノーボード人口も減少しているが、新たな顧客層の開発が必要だと思われる。<br>・全国的に外国人客は増加傾向にあるものの、利用者の大半は国内客である。スキー・スノーボード人口増、リピーター獲得を図るために、現在も活用いただいているが「雪マジ19」などの情報を積極的にＰＲし、若年世代の誘客や国内客の減少を食い止めてもらいたい。</td></tr>
</table>

【総合評価】

| 評価区分 | 判断基準 |
|---|---|
| AAA | 優良である |
| AA | 良好である |
| A | 適正である |
| B | 課題がある |
| C | 改善を要する |

# 公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1　指定管理者名　　火打山麓振興株式会社

2　対 象 施 設　　シャルマン火打スキー場

3　評価委員会の意見

| 項目 | 意　　見 |
|---|---|
| 管理運営<br>利用者サービス<br>収支実績 | ・利用者数が昨年よりも増加している中で事故も無く、適切な安全管理体制を維持している。今後も市の要求水準に基づき、利用者が今以上に施設を安全・快適に使用できるよう努めていただきたい。<br>・今後も積雪状況により営業日数や入込数が大きく左右されることから、今シーズンのように営業日数が確保できない中で利用者数の増加につながる取組をお願いしたい。 |
| 全体評価 | ・２年連続で利用者及び収入が増加していることは評価できる。引き続き、利用者増に向けて魅力ある施設運営に努めていただきたい。<br>・施設の設置目的を再確認する中で、適切な管理運営方法について、様々な視点をもって検証願いたい。 |
| その他 | ・評価票については施設の設置目的に対する指標と成果が求められるため、評価項目と合わせて改良願いたい。 |